

FOS2016 奨学生の磯村真由子です。専攻は有機合成化学で、2020年よりボストンのハーバード大学にてポスドクとして働いております。ポスドクもいよいよ3年目に入り、段々と次のポジションについて考えるようになってきました。ポスドクでの仕事を論文としてまとめると同時に、次の希望であるPIのポジションの出願において最も大切である、3つのプロポーザルを書くことを考え始めました。論文に関しては、2報の論文としてまとめる事を目指し、3月頃に一報目の論文を書き終えて現在教授とディスカッション中です。2報目に関してもデータは揃ってきて、現在それらをまとめているところです。この夏じゅうに、2報目も書き終えることを目標としています。まとめの段階はデスクワークが多く、とにかく実験をしているのが好きな自分にとってはあまり得意なパートではないのですが、今後アカデミアに残る以上は避けられないお仕事なので、この機会にスキルアップかつ好きになれるよう頑張っております。

プロポーザルに関しては、10月の出願までに用意しなくてはなりません。私の研究分野である有機合成化学分野では、Ph.D.やポスドクでの研究分野を活かしながらも、内容が近すぎてもダメという暗黙の了解があります。自分が今やっている分野とは少し異なり、しかし面白く、ニーズもあり、実現可能なアイデアを3つも出すことになりかなり苦労しています。特に、もしそのプロポーザルが通ったら、それからそのプログラムで研究室を運営していかなければならないというプレッシャーもあります。一方で、全て自分の好きなように研究プログラムを考えて、それに取り組めるのだということを考えるととてもワクワクしてきて、自分は研究が本当に好きなんだなあと再確認も出来ました。アカデミアPIポジションへの出願について真剣に考え始めたのは4月の始めあたりで、まずはゆっくりと席に座ってアイデアを出そうとしたのですが、そう簡単にアイデアは降ってくるものでもなく、結局なんの進捗もないまま日が無情に過ぎていき、愕然としたりしていました。その後、若手PIの講演会に積極的に参加して話してみる、出願しようとしている大学や研究所の既にポジションを得た人に連絡をとる、とりあえず自分の好きな実験をしてみて何か閃かないかやってみるといった試みをした結果、パソコンとずっと睨めっこしているよりかはだいぶ前向きになっているかなとは思っています。

また最近、自分の気持ちや、やる気に対してだんだんと身体が追い付かなくなってきているのを感じていて、少し夢中になって仕事をするとうすぐその後体調やメンタルを崩すようになりました。健康な身体が一番の財産というように、食事・運動・休息についてももっとこだわっていきたいなと思っています。最近ボストンの街をお散歩をしつつ美味しそうなお店を探すのが趣味で、とっても美味しいパン屋さんを見つけることが出来たことは大きな収穫でした。ヨーロッパからアメリカに移ってイマイチ食事が満足できずにいましたが、最近は美味しいものも探せばたくさんあると分かり、3年目にしてボストンが大好きな街になってきています！

とにかく、この夏は自分にとって「勝負の夏」という、まるで受験生のようなスローガンになってしまいましたが、できる限り全力で後悔のないようにしたいと思います。

最後になりましたが、このように長期にわたって支援を続けてくださっている船井財団の方々には心より感謝申し上げます。